

# 海底火山等の最近の活動について\*

## The Recent Activity of Submarine Volcanoes and Volcanic Islands

海上保安庁水路部

Hydrographic Department, Maritime Safety Agency

前回（第74回）に報告した以後（1997年2月3日から1997年5月20日）の活動状況は、以下のとおりである。

### 1. 南方諸島方面

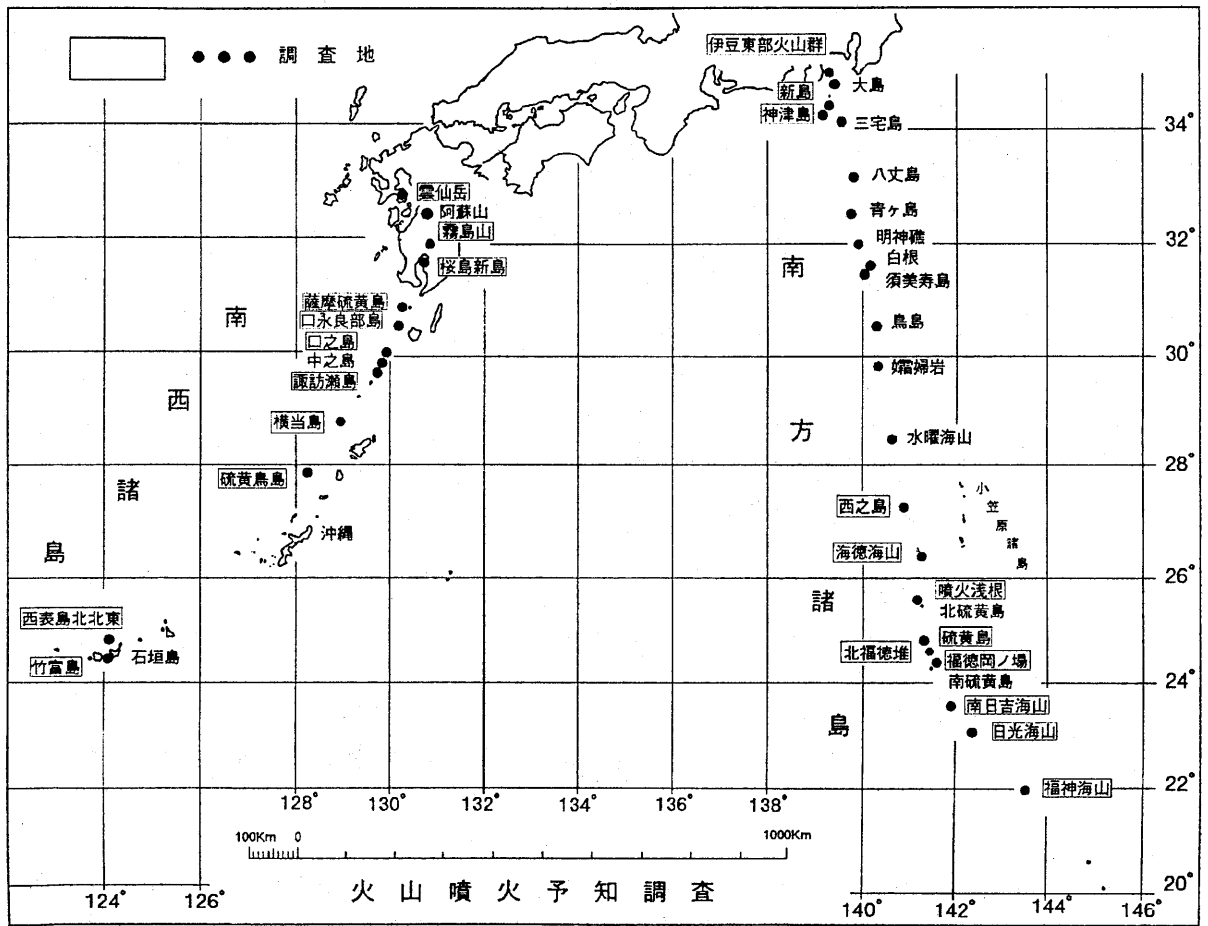
場 所	年 月 日	調査機関等	活 動 状 況
伊豆東部火山 群 の 海 域	1997 3 3	海上保安庁	変色水等の異常を認めず。
	3 4		〃
	3 5		〃
	3 6		〃
	3 7		〃
	3 9		〃
	3 10		〃
	3 11		〃
	3 13		〃
新 島	1997 3 10	同	間々下浦から神渡鼻にかけて濃い青白い変色水、井沢磯に白っぽい変色水、大磯から和田浜にかけて及び波伏浦全域に青白い変色水、黒根付近に薄茶色の変色水が認められた。
神 津 島	1997 3 10	同	変色水等の異常は認められなかった。
明 神 礁 (ペヨネース列岩)	1997 3 10	同	変色水等の異常は認められなかった。
鳥 島	1997 3 10	同	島の西岸に薄い緑色の変色水、南岸に薄い白色の変色水が認められた。火口からの噴気、噴煙等は認められなかった。
西 之 島	1997 3 10	同	島の東岸及び北西岸に薄い黄緑色の変色水が認められた。
海 徳 海 山	1997 2 17	海上自衛隊	変色水等の異常は認められなかった。
	3 10	海上保安庁	〃
	4 14	海上自衛隊	〃
	5 16	同	〃
噴 火 浅 根	1997 3 10	海上保安庁	小規模の薄い緑色の変色水が認められた。
硫 黄 島	1997 3 10	同	島の海岸線全域に黄緑色及び黄色の変色水が認められた。
	3 11		
北 福 徳 堆	1997 3 11	同	変色水等の異常は認められなかった。

\* Received 6 Aug., 1997

場 所	年 月 日	調査期間等	活 動 状 況
福徳岡ノ場	1997 2 17	海上自衛隊	黄緑色の変色水(5,000m×560m)を認めた。
	3 10	海上保安庁	薄緑色の変色水(2,600m×600m)を認めた。
	3 11	同	前日と比較して変色水は薄くはっきりしないが、乳白色の変色水を湧出を認めた。
	3 26	海上自衛隊	緑色の変色水(半径460m)を認めた。 熱計測の結果、変色水域は周囲よりも表面水温がやや低かった。海底までの鉛直水温に大きな変化は認められなかった。
	4 14	同	緑色の変色水(3,700m×900m)を認めた。 熱計測の結果、変色水域は周囲よりも表面水温がやや低かった。
	4 16	海上保安庁	緑色の変色水(3,000m×80m)と3ヶ所から白濁した変色水の湧出を認めた。
	4 18	同	白濁した変色水(500m×80m)を認めた。
	4 23	海上自衛隊	薄い青緑色の変色水(1,600m×300m)の中に濃い土色をした箇所を認めた。
	4 24	海上保安庁	変色水等の異常は認められなかった。
	4 25	同	変色水等の異常は認められなかった。
	4 26	海上自衛隊	黄土色の変色水(200m×100m)を認めた。 熱計測の結果、変色水域は周囲よりも表面水温がやや高い。
	5 1	海上保安庁	極めて小さな海底からの変色水の湧出があり、湧出点付近に半径100m程度の乳白色及び白濁した薄緑色の変色水が認められた。また、湧出点から長さ1,800mの白い帯状の泡もしくは軽石等の浮遊物を認めた。
	5 16	海上自衛隊	長さ約250m、幅約50mの黄緑色の変色水を確認
	5 20	海上保安庁	変色水等の異常は認められなかった。
南日吉海山	1997 2 17	海上自衛隊	変色水等の異常は認められなかった。
	3 26	同	〃
	4 14	同	〃
	5 16	同	〃
日光海山	1997 2 17	海上自衛隊	変色水等の異常は認められなかった。
	3 26	同	〃
	4 14	同	〃
	5 16	同	〃
福神海山	1997 2 17	海上自衛隊	変色水等の異常は認められなかった。
	3 26	同	〃
	4 14	同	〃
	5 16	同	〃

2. 南西諸島方面

場 所	年 月 日	調査機関等	活 動 状 況
雲仙普賢岳	1997 2 12 14	海上保安庁	平成新山から少量の噴気が認められた。
霧 島 山	1997 2 12 13	同	白鳥山，韓国岳，新燃岳，御鉢火口に噴気等は認められなかった。
桜島新島	1997 2 12 13	同	島の周囲全体に薄い緑色の変色水が認められた。
薩摩硫黄島	1997 2 12 13 14	同	稲村岳南部海岸の湾内に濃い赤褐色の変色水，磯松崎から東へ約1 kmの海岸線にかけて濃い茶褐色の変色水，稲村岳の南岸から天狗鼻の東約500mの海岸線にかけて濃い白っぽい緑色の変色水，天狗鼻の東約500mの海岸線から穴之浜にかけて濃い黄緑色の変色水，穴之浜の沖合にかけて濃い茶褐色と薄い黄緑色の帯状の変色水，昭和硫黄島の周囲に極く薄い緑色の変色水，穴之浜から平家城にかけて濃い白っぽい黄緑色の変色水がそれぞれ認められた。硫黄岳火口から白い噴気（水蒸気状）が認められた。
口永良部島	1997 2 13 14	海上保安庁	向江浜とニシマザキの間に薄い緑色の変色水，ニシマザキの南に薄い緑色の変色水が認められた。新岳と古岳火口から少量の筋状の噴気（水蒸気状）を認めた。
口 之 島	1997 2 13 14	同	島周囲には変色水は認められなかった。 燃岳から少量の噴気が認められた。
諏訪瀬島	1997 2 12 13 14	同	須崎とアカヅミの間の海岸線に茶褐色の変色水，大船浜の北の海岸線に薄い黄色の変色水，長瀬の北約2 kmの海岸線に茶褐色の変色水が認められた。御岳火口全体から白色の噴煙（火山灰を含まない水蒸気状）が認められた。
横 当 島	1997 2 3	同	島のくびれた部分の南側海岸に薄い緑色の変色水が認められた。火口内は草で覆われており，噴気等の異常はなかった。
硫黄鳥島	1997 2 13	同	島の周囲に変色水は認められなかった。島の北西にある新火口内で4ヶ所少量の噴気，島の南東付近から1ヶ所少量の噴気が認められた。
西表島北方海域及び西表島	1997 2 13 14	海上保安庁	北緯24度50.0分，東経124度06.7分を中心に半径3マイルの海域（1924年に海底火山の噴火が起こったと推定される海域）に変色水等の異常は認められなかった。また，1992年10月の西表島北岸付近を震源とする群発地震とはほぼ同じ場所で2月10日から地震活動が活発となったことから，付近の海面及び海岸線を調査したが，火山性の変色水等の異常は認められなかった。
竹 富 島	1997 2 13 14	同	変色水等の異常は認められなかった。



第1図 火山噴火予知調査位置図  
 Fig.1 Index of submarine volcanoes islands.